

7月25日（火）雄と雌

おもしろい記事を見つけました。雄と雌の両方が一匹になったノコギリクワガタの記事です。



群馬県立ぐんま昆虫の森は、右側のはさみが雄で、左側が雌というおす・

めす両方の特徴を持った野生の、とっても珍しいノコギリクワガタが高崎市内で見つかったと発表しました。

ノコギリクワガタは「雌雄モザイク」と呼ばれる珍しい個体で全長41ミリ。野生で見つかるのは貴重ということです。はさみのほか、背中の左側のツヤや左前脚の短さに雌の特徴がありますが、全体的には雄の特徴があります。

このノコギリクワガタを発見したのは、8歳と6歳の兄弟です。お父さんとクワガタ採りをしているときに、「はさみの大きさが違うクワガタがいる」と発見したのだそうです。

扇っ子の皆さんも、夏休みに大発見をする可能性もあります。発見する時には「よく見ることも大事ですが、「あきらめずに探す」ことが大事だと思います。